

個人情報の漏えいに関するご報告

このたび、当院が検査業務を委託した業者において、患者様の個人情報が記載された検査結果を誤って他の病院へ FAX 送信するという事案が発生いたしました。

検査を実施された患者様に多大なご心配・ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後は、個人情報の管理体制の強化に努め、再発防止に万全を期す所存でございます。

1. 事案の内容・経緯

2026年4月より、当院は遺伝子検査の外部検査の委託先として(株)QCLと契約、委託検査を開始しました。

4月14日、他の病院より(株)QCLへ「別の病院の患者の結果がFAXで来ている」と連絡があり、当院から依頼した検査結果が誤って他院へFAX送信されたことが発覚しました。

2. 誤送付したFAXに載っていた情報

患者氏名、生年月日、検査結果

3. 本事案発覚後の対応

(株)QCL担当者が誤送信先の病院を訪問し、4月16日までに、誤送信した8名分のFAXを全て回収しました。

対象の患者様に対しては、病院より連絡を行い、ご説明とお詫びをさせていただいております。

4. 再発防止策

FAX送信によって検査結果を知らせる運用をとりやめ、今後は(株)QCL担当者が病院へ直接検査結果を持参する方法に変更いたしました。

令和8年7月8日

検査依頼元：国立病院機構小倉医療センター 院長 吉里 俊幸
検査委託先：株式会社QCL 北九州営業所 所長 黒岩 健太